

盛岡を発掘する

第40回埋蔵文化財調査資料展

～令和4年度調査速報～

2023年2月4日(土)～5月21日(日)

見前中島遺跡・竪穴建物跡

盛岡市 **遺跡の学び館**

〒020-0866 盛岡市本宮字荒屋13-1
TEL 019-635-6600 FAX 019-635-6605

見前中島遺跡

～みるまえなかじまいせき～

第3次調査
西見前

盛岡市の中心部から南に約6.4キロ。北上川西岸、^{ちゅうせきだんきゅう}沖積段丘上に位置します。今回の調査では、平安時代（9世紀中葉～後葉）^{たてあなたてもの}の竪穴建物跡1棟、古代～近世の溝跡13条、中世～近世の^{ほったて}掘立柱建物跡1棟が見つかりました。竪穴建物跡には、東壁にかまど、柱が4^{くち}口見つかり、かまどの構築材と考えられる甕が出土しました。古代の溝跡の堆積土には、延喜15年（915）に降下した^{とわだ えー}十和田^{えー}火山灰が含まれるものもあり、並行に延びる3条は、古代の^{どうろそっこう}道路側溝跡の可能性

があります。周辺では、奈良・平安時代の古代集落が多く見つかっています。見前中島遺跡の本格的な調査は、今回がはじめてでしたので、平安時代の集落が、この場所でも営まれていたことが明らかになりました。

遺物は、あかやき土器の甕や須恵器の大甕、^{としいし せいじわん}砥石、青磁碗などが出土しました。



竪穴建物跡 かまど



調査区を縦断する13条の溝跡

国史跡 盛岡城跡

～くにしせき もりおかじょうあと～

第37次調査
第44次調査
内丸

盛岡城は、旧北上川と中津川の合流点にある^{きゅうりょうち}丘陵地を利用して築かれた^{ひらやましろ}平山城です。盛岡藩祖南部信直と^{としな}利直父子が、約40年もの歳月をかけて築きあげました。

200年以上にわたり南部氏の居城でしたが、明治維新後に城内建物のほとんどは取り壊されました。昭和12年（1937）国指定史跡となり、石垣修復工事や発掘調査が行われています。

三ノ丸地区では、昨年引き続き、北面石垣の解体工事に伴い、石垣内部の構造や築石本体を詳細に調査しました。本丸地区では、本丸南東部の遺構確認の調査を行い、建物の^{そせき}礎石を発見しました。遺物は、瓦や陶磁器、^{てっさい こかし}鉄滓（小鍛冶等で排出される不純物）などが出土しました。



石垣内部調査風景（三ノ丸）



建物の柱を支えていた礎石（本丸）

令和4年度に発掘調査した遺跡



仁反田遺跡

～にたんだいせき～

第7次調査
東山

盛岡市の中心部から南東に約3キロ。築川の北岸、^{たていしやまさんち}建石山山地西端部の丘陵地上に位置します。過去の調査では、縄文時代中期（今から約4000～5000年前）の竪穴建物跡や貯蔵穴群、仁反田四郎忠常の館として

伝承がある中世の城館跡に伴う堀や掘立柱建物跡が見つかりました。

今回の調査区域は、遺跡北西側斜面地にあり、縄文時代の土坑や、中世の堀跡、時期不明の土坑が見つかりました。縄文時代の土坑は、断面形が化学実験等で使う三角フラスコの形状をしており、貯蔵穴と考えられます。中世の堀跡は、仁反田館を囲む空堀の跡です。深さは約3m、南東方向に屈曲していました。

遺物は、縄文土器の^{ふかばち}深鉢や石器などが出土しました。



調査風景

安倍館遺跡

～あべだていせき～

第98次調査
安倍館町

盛岡市の中心部から北西に約3.5キロ。火山灰砂台地（滝沢台地）南端部、北上川に面した段丘上に位置します。東側に接流する北上川との高低差は約20mあります。過去の調査では、堀跡や、掘立柱建物跡、

竪穴建物跡が見つかり、出土した陶磁器の年代から16世紀を中心とする城館跡であることがわかっています。厨川の地を拠点としていた工藤氏が、この^{だんきゅうがい}段丘崖を天然の防御施設として堅固な城館を築きました。

今回の調査では、調査区域全体から堀跡が見つかりました。遺跡は、6つの^{くるわ こうとうだて とだて きただて ほんまる なかだて みなみだて}曲輪（勾当館・外館・北館・本丸・中館・南館）と^{おびくるわ}帯曲輪で構成されており、今回見つかったのは、南館を囲む空堀跡です。深さは2m以上あり、堀の壁面から堀とともに^{らんぐい}備えられた防御施設である「乱杭」の跡が見つかりました。



堀跡の堆積土

盛岡市内の主な遺跡と時代

時代	年代	西暦	主な出来事	市内の主な遺跡	令和4年度調査遺跡	
原始	旧石器時代		大陸と地続き、大型の動物が生息する	小石川遺跡(藪川)		
	草創期	12,000年前	土器の使用がはじまる	大新町遺跡(大新町)		
		早期	8,000年前	定住化がすすむ	館坂遺跡(前九年) 庄ヶ畑A遺跡(上米内) 大新町遺跡(大新町) 日戸遺跡(日戸) 新茶屋遺跡(山岸) 上八木田遺跡(新庄) 畑遺跡(上米内)	
	前期	6,000年前	気候の温暖化、海面の上昇 漁労の発達、各地に大型住居が出現	【県史跡】大館町遺跡(大新町)		
		5,000年前	各地に大規模な縄文集落が発達	柿ノ木平遺跡(浅岸) 繫V遺跡(繫) 上米内遺跡(上米内) 川目C遺跡(川目) 湯沢遺跡(湯沢) 大葛遺跡(浅岸) 落合遺跡(下米内) 菟内遺跡(繫) 上平遺跡(猪去)	仁反田遺跡(東山)	
	後期	4,000年前	気候の寒冷化 ストーンサークルがつくられる	川目A遺跡(川目) 宇登遺跡(川又)		
		3,000年前	東日本で亀ヶ岡文化が栄える			
	弥生・古墳	弥生時代	紀元前 2,000年前	水田耕作の開始 金属器の使用が始まる	繫VI遺跡(繫) 一本松遺跡(下米内)	
		古墳時代	紀元後 1,700年前	57 倭の奴国王が後漢の光武帝より印綬を賜る 239 邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを出す ヤマト政権、統一進む	永福寺山遺跡(下米内) 薬師社脇遺跡(浅岸)	
			飛鳥時代	1,400年前	593 聖徳太子が摂政となる 645 大化の改新	上田蝦夷森古墳群(黒石野) 竹鼻遺跡(上鹿妻)
奈良時代		1,300年前	710 平城京に都をうつす 724 多賀城が築かれる	太田蝦夷森古墳群(上太田) 百目木遺跡(三本柳) 台太郎遺跡(向中野) 釜崎遺跡(好摩)		
		平安時代	774 陸奥国38年戦争始まる(～812年)	西鹿渡遺跡(三本柳) 永井古墳群(永井)	下永林遺跡(津志田)	
1,200年前			794 平安京に都をうつす 胆沢城(802)志波城(803)徳丹城(812)が築かれる 894 遣唐使が停止される	【国史跡】志波城跡(上太田) 台太郎遺跡(向中野) 前野遺跡(浅岸) 乙部方八丁遺跡(乙部) 林崎遺跡(下太田) 芋田遺跡(芋田) 稻荷町遺跡(大館町・稻荷町) 内村遺跡(下飯岡)	見前中島遺跡(西見前)	
中世・近世		鎌倉時代	1,000年前	1016 藤原道長が摂政となる 1051 前九年の戦い(～1062年) 1083 後三年の戦い(～1087年) 1124 中尊寺金色堂完成 1189 奥州藤原氏滅亡	大宮遺跡(本宮) 堰根遺跡(浅岸) 台太郎遺跡(向中野) 落合遺跡(下米内) 里館遺跡(天昌寺町) 安倍館遺跡(安倍館町) 日戸館遺跡(日戸) 下田館遺跡(下田)	安倍館遺跡(安倍館町) 仁反田遺跡(東山)
			800年前	1192 源頼朝が征夷大將軍となる 文永の役(1274) 弘安の役(1281)		
		室町時代	600年前	1336 南北朝に分かれ、対立する 1338 足利尊氏が征夷大將軍となる 1404 足利義満、明との貿易を開始する 1467 応仁の乱		
			安土桃山時代	1588 南部信直が志和郡を攻略する 1590 豊臣秀吉が天下を統一する 1603 徳川家康が征夷大將軍となる 1641 鎖国の体制が固まる	【市史跡】玉山館遺跡(玉山) 【国史跡】盛岡城跡(内丸)	【国史跡】盛岡城跡(内丸)
	江戸時代	400年前		南部家墓所(北山) 山蔭窯(茶畑)・花古窯(新庄)		
		明治時代 大正時代	1853 アメリカの使節ペリーが浦賀に来る 1867 大政奉還 王政復古の号令 1923 関東大震災			

◆令和4年度調査成果報告会◆

■日時 2023年3月5日(日) 13:30～15:00 ■会場 盛岡市遺跡の学び館 研修室(定員40名)

■報告遺跡 仁反田遺跡・見前中島遺跡・安倍館遺跡・国指定史跡 盛岡城跡(予定)

※入場無料、電話(019-635-6600)で事前の申し込みが必要です。[2月18日(土)10:00～ 先着順]